X 線回折装置使用法

<測定準備>

冷却水のスイッチを ON にする。

次に、POWER スイッチを ON にする。パソコンを立ち上げる。



1. 装置前面にあるハンドルを "OPEN"にして、ドアを開ける。



- 2. 試料室内のホルダーに試料をセットする。
- 3. ドアを閉めて、ハンドルを"LOCK"にする。

<測定>





デスクトップにある"Rigaku"フォルダをダブルクリックして開く。

🚔 Rigaku	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)	
🕝 戻る + 🕥 - 🏂 🔎 検索 🌔 フォルダ 🔠 -	
アドレス(2) 🛅 C¥Documents and Settings¥Administrator+ニンクトップ¥Rigaku	💌 🛃 移動
ファイルとフォルダのタスク ★ 五測定 新しいフォルダを作成する このフォルダを性に成する このフォルダを性に成する このフォルダを共有する よ置制御 法置制御 基本データ処理	
その他 ③ デスクトップ 〇 マイドキュメント 〇 井有ドキュメント ③ マイコンピューキ ③ マイコンピューキ ④ マイネットワーク	
2748 ×	

"右測定"をダブルクリックして開く。



"標準測定"アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動する。

2.				" 測定実行 " ボタン					
	「日本 ファイル 中間を	準測 (① 史	定 [7 編集	<mark>5] (C:¥Documents and Settings¥</mark> ④ 表示(⊻) 処理(₽) ヘルプ(出)	Administrator¥My Documents¥X線回折¥ 標準測定 [右] (C:¥Documents and Settin	測定条件 🔤 🗙 gs¥Administrato			
	アタップメハ名:標準試料制な ² 終了処理: ✓ 位置初期化 ×G終了条件:×線を停止する ▼								
	No.	」	₽	7개版"名 771	14名 - サンフ°ル名 測定条件	次処理			
	1	0	×	C:¥Windmax¥Data¥2009\test.raw	参照 TEST SAMPLE 1	連続			
					参照	連続			
					····	連続			
					参照	連続			
					参照	連続			
					参照	連続 🔻			
			/		2	009/03/31			

"ファイル名"と"サンプル名"を自分の試料のものに変更する。

"測定実行"ボタンを押すと下のような画面が表示され、測定が開始する。

) 表于○○	(P) オコペッン(O)	∧.L⊐°(H)				<u>I</u>
	▼ 標準	Counts	₩7 ∰ ▼ 0%	- 2	半価幅中点法		?
				<u> </u>			
強度(counts))						1
1000	e en en e						
800							
600							
400							
200							
0	0.000	50.000		100.000		150.000	
				2017			
					2009/03/	31 10:16	

3.

測定が終了すると、以下のような画面になる。



解析方法





"MDI JADE 7 (日本語版)"をダブルクリックして、プログラムを起動する。



次ページの全画面と共に以下の画面が現れる。

" 選択 " を押す。



この画面左の測定データの中から目的データをクリックする。



「同定分析」を選択し「(サーチ/マッチ)設定」を選択する。以下の画面が現れる。

📵 同定分析(サー	チ/マゥチ、S/M) 無相	뽍[49/51119 (09/	03/30)] 🗙
一般】詳細】除	木 [ヒット]		× I SM
「」検索するサプラ	11	「」サーディッテライル	R:
□ 全サフラァイル (3式相無し) 🤦	□ 元素指定	
□PDF+ICSD無相	幾相 📃	日堂光/線/一州	使用
□ PDF+ICSD報A	勿相	□ 化学量論フィルタ	使用
ICSD 鉱物	86/5616 (□ 結晶格子テ~タ	フィルタ使用
□□無機	49/51119 🚽	🔲 P DF データフィルク	使用
「古地	40/20640	🗆 PDF カラーフィルタ	使用
全サフラァイルをリスト	·アッフ° <u>Ŧ</u> ▼	□単相のサーチ/マ	'"Ŧ 🔽
サーチ/マッチ対象主	要成分 🔽	jade7.cff <元素フィル	レタファイル> 💌
┢ 自動一致ピーウィ	D最小数 -3 📃 [- 昇格させる検出相	の値※25 🝨
サーチ/マッチ画面に	:検索結果?▼	!既定サーチ/マッチ	× s 🔻

ここで、全サブファイル 元素指定 をチェックする。

🔷 現行設定元素 [フィルタ] 🛛 💦 🗡									
全て除外(<u>E</u>)	軽元素(L)	● 一般元素(<u>C</u>) 全			て可能(P) 【QK】 キャンt				1211
HD	H D liade7 off (元志) 【化学基 Manganese [25]								
Li Be		LC	」 5二 <i>十</i>		BC	N	0	F	Ne
Na Mg		日来 🔼 40男	そ元糸		AI Si	P	S	CL	Ar
K Ca Sc	Ti V Or N	Mn Fe Co	Ni Cu	Zn	Ga Ge	As	Se	Br	Kr
Rb Sr Y	Zr Nb Mo T	To Ru Rh	Pd Ag	Cd	In Sn	Sb	Te	Ι	Xe
Cs Ba 🖪	If Ta W F	Re Os Ir	Pt Au	He	ті Рь	Bi	Po	At	Rn
Fr Ra	La Ce Pr 1	Nd Pm Sm	Eu Gd	ТЬ	Dy Ho	Er	Tm	Yb	Lu
Ln An	Ac Th Pa	U Np Pu	Am Cm	Bk	Of Es	Fm	Md	No	Lr
▼ 全て必要	Ta: <mark>0.0 🜻</mark> 🔗	¢ 8	÷.	?	÷	2	¢	?	¢

元素指定を選択すると上の画面が現れる。蛍光 X 線分析で検出された元素を 必要元素としてクリックする。他の元素は可能元素としておくこと。 よければ OK をクリックする。



右上の S-M をクリックする。



候補の物質にチェックを入れる。チェックを入れたらその画面を終了する。

初期画面に戻る。

初期画面のファイル印刷の設定をクリックする。すると以下の画面が現れる。



これの印刷をクリックする。

印刷が終了したら、終了をクリックする。